

## 「清算機関の統合に関する実務者検討会」の議事要旨（第一回）

開催日時：平成 13 年 3 月 8 日（木）14:00-15:00

場 所：日本証券業協会 第一会議室

主な議題：（１）実務者検討会の設立趣旨と証券会社からの提案  
（２）今後の進め方について

### 議事要旨

はじめに、本実務者検討会の参加者の紹介が行われた。（別紙 1）

続いて、証券会社を代表し野村證券より本検討会の設置の趣旨（別紙 2）について説明が行われた。引き続き、市場取引に係る清算機能の在り方について証券会社側から提案（別紙 3）が行われた。以下の検討事項と今後の進め方について意見交換を行い、市場運営者側から総論において賛同を得た。

### 検討事項

統一清算機関創設へのコンセンサス  
基本機能の確定  
所有とガバナンスの問題  
決済の安全性と効率性の調和  
統合に要する時間とコスト

#### （１） 実務者検討会の設立趣旨と証券会社からの提案

参加者から出された主な意見の概要は以下の通りである。

- ・ 清算機関を統合していくのは望ましいが、統合された清算機関の中立性・革新性が十分確保されることが重要だというコンセンサスの上で具体的な検討が行われる必要がある。
- ・ 統合すべきが「大多数」とあるが、ワーキング参加者以外の証券会社の動向についても同様と考えていいのか。
- ・ 業界全体のコンセンサスを取ってからやらざるを得ない。当初の立ち上げ時の認識を徹底させる為にもそのような形を取りたい。
- ・ システム・規則等についてより詳細な検討は分科会を設置して事前に運営者側で詰めることになると思う。間接参加者についても当初から意識していかないといけない。
- ・ この提案はユーザーサイドからの要望なので、運営者側からの観点でも案を出していただきたい。

## ( 2 ) 今後の進め方について

証券会社からの提案に沿って、第一フェーズとして統一清算機関創設へのコンセンサスの形成と基本機能の確定を行い、第二フェーズとしてシステム・規則等について詳細な検討を行う方向で進めることとなった。運営者側には本日の提案内容を持ち帰っていただき基本機能を確定してもらうこととした。

最後にこの実務者検討会の事務局を日本証券業協会と野村證券株式会社、世話役を大和証券 SMBC 株式会社として今回の会合は終了した。

## 今後の予定

次回の開催については運営者側の検討の進捗状況を聞きながら決めさせていただく。

(別紙1)

## 統一清算機関実務者検討会参加メンバー

平成13年5月現在

### (市場運営者側)

大阪証券取引所	樋出 幹雄	総合企画部 企画課	課長代理
東京証券取引所	清水 寿二	決済管理部	部長
名古屋証券取引所	鈴木 吉隆	常務	理事
日本証券業協会	寺田 尚之	店頭市場部	課長

### (証券会社)

藍澤證券株式会社	佐藤 隆二	業務部	部長代理
大和証券SMBC株式会社	吉田 聡	経営企画部	次長
東京三菱証券株式会社	伊井 勝也	事務管理部	課長
日興リモン・スミス・ハートニ証券会社	北村 淳一	業務本部	ディレクター
野村證券株式会社	篠田 智幸	決済部	課長
水戸証券株式会社	佐藤 恵一	財務部	証券管理課長
UBSウォール・ハーク証券会社	永原 幸	オペレーションズ	ディレクター
リーマン・ブラザーズ証券会社	井上 俊夫	株式業務部	課長

[計12名]

(敬称略、五十音順)

「清算機関の統合に関する実務者検討会」の設置について

【設立の趣旨】

日本証券業協会が主宰する「証券受渡・決済制度改革懇談会」のサブワーキングである「DVP 決済方式の推進と清算機能の活用等に関するワーキング・グループ」において、清算機能の明確化・清算機関の法的位置付け及び清算機関の連携・統合形態のあり方について検討が行われてきた。

その議論の過程で、我が国の証券決済システムを整備し決済機関の参加者による資金の効率的な利用や統合的なリスクコントロール等を可能とする為に、取引所上場銘柄及び店頭登録銘柄の清算機能については統合すべきとの意見が大多数を占めた。そこで、その実現性や実効性を考慮し、関係当事者間においてより詳細な検討を行う場を設ける必要があるという認識のもと、証券取引所の運営者側と参加者である証券会社の実務者による「清算機関の統合に関する実務者検討会」を別途設置して、清算機関を統合するに際しての統一清算機関創設へのコンセンサスの形成、基本機能の確定等について検討を行う必要がある。

以上

## 市場取引に係る清算機能の在り方

【 ワーキング・グループからのご提案 】

2001年3月8日

藍澤証券

大和SBCM

東京三菱証券

日興SSB

野村証券

水戸証券

UBSウォーバーグ証券

リーマン・ブラザーズ証券

# 目 次

- 1.ご提案の趣旨
  - 2.必要性
  - 3.概 要
  - 4.期待される効果
  - 5.スケジュール
  - 6.課 題
- 別 紙1,2

# 1.ご提案の趣旨

## (1)我が国の証券決済制度改革の流れ

- 諸外国では決済期間の更なる短縮などの改革が進められている中で、我が国の証券決済システムを安全性、効率性、利便性の面で国際的に通用するものに整備していく必要があるとの問題意識

## (2)日本証券業協会WGでの合意

- 第3WGでは以下の発言があり、「統合すべき」が大多数の意見
  - ・ 市場毎に決済している非効率な現状
  - ・ 証券、資金の一元管理（統合的なリスクコントロール）
  - ・ 決済におけるバックオフィス部門の事務負担軽減
  - ・ 取引の電子化（手作業、ペーパー媒体の処理を排除）

## (3)グローバルな観点

- 欧米においては既にストリート・サイドの清算機能は統合されており、また海外からも統一化の要望

## 2.必要性

### (1)創設の意義

- 証券決済システムの安定性が問題となっている今、清算機能が存在していなかったり、または個々に存在している状況を整理し、その基盤であるインフラを整備する必要
- 証券決済改革は証券業界のみならず社会全体の課題であるが、まず証券業界がその先駆けとなり実現可能なものから早急に整備する必要
- 会員である証券会社の共通認識として、ストリート・サイドの清算機能については統合すべき

### (2)方針

- 証券業界が証券決済改革の牽引役を務めるべく、早期実現化とコスト負担の軽減を図るため、既存インフラを最大限に活用



## 3.概要

### (1)対象市場

- 各証券取引所及び店頭市場
- 将来的には、証券会社間取引（PTSなど含む）も検討視野

### (2)参加者

- 各証券取引所及び店頭市場の現参加者
- 将来的には、清算代行会社などを通じた間接的な参加も検討視野

### (3)取扱有価証券

- 各証券取引所及び店頭市場にて取り扱われている有価証券  
但し、国債は参加者や決済形態が異なるため、別途検討

### (4)対象取引の種類

- 各証券取引所及び店頭市場にて取り扱われている取引種類すべて

---

## (5) ネットイング 対象

- 証券は、集中決済を採用している取引種類  
個別決済の取引種類については今後詳細に検討
- 資金は、取扱有価証券/対象取引の種類すべて

## (6) 決済形態

- ネット-ネットのDVP決済形態を採用  
但し、個別決済の取引種類については今後詳細に検討

## (7) 受渡場所など

- 当該機関との情報授受及び受渡場所は、各参加者が一ヶ所を指定
- 決済銀行も、各参加者が任意に一ヶ所を指定

## (8) 代用有価証券

- 各証券取引所に預託している委託保証金、売買証拠金の代用有価証券及び今後発生するDVP決済の前日担保を統合管理

## 4.期待される効果

### (1)証券市場

- 安全でかつ効率の高い信頼性のある市場として評価

### (2)投資家

- 市場間競争の促進による決済コストの低減が期待
- より迅速、より確実な決済が期待

### (3)参加者

- 業務の簡略化（同一の業務の集約、プロセスの統合など）
- コスト・パフォーマンスの向上
- システムが未整備の証券会社にとって参入が容易

### (4)市場運営者

- 市場運営のみに特化でき、好ましい市場間競争が促進

---

## (5) 業 務

- 証券、資金の一元管理（統合的なリスクコントロール）
- 業務の簡略化（同一の業務の集約、プロセスの統合など）

## (6) システム

- 市場毎に異なるインターフェースやネットワークが統一され維持管理コストが低減
- 将来の制度改正など迅速に対応可能

## (7) T+1への対応

- S T P化の進展やT+1決済の導入に向けての議論が可能

## 5.スケジュール

### (1)第1フェーズ(1ヶ月)

- 統一清算機関創設へのコンセンサス
- 基本機能の確定

### (2)第2フェーズ(3ヶ月)

- 分科会の設置
  - ・システム
  - ・規則 等々

### (3)第3フェーズ

- 統一清算機関の準備委員会
  - ・コスト・ベネフィットの算出

## 6.課 題

(1)所有とガバンスの問題

(2)決済の安全性と効率性の調和

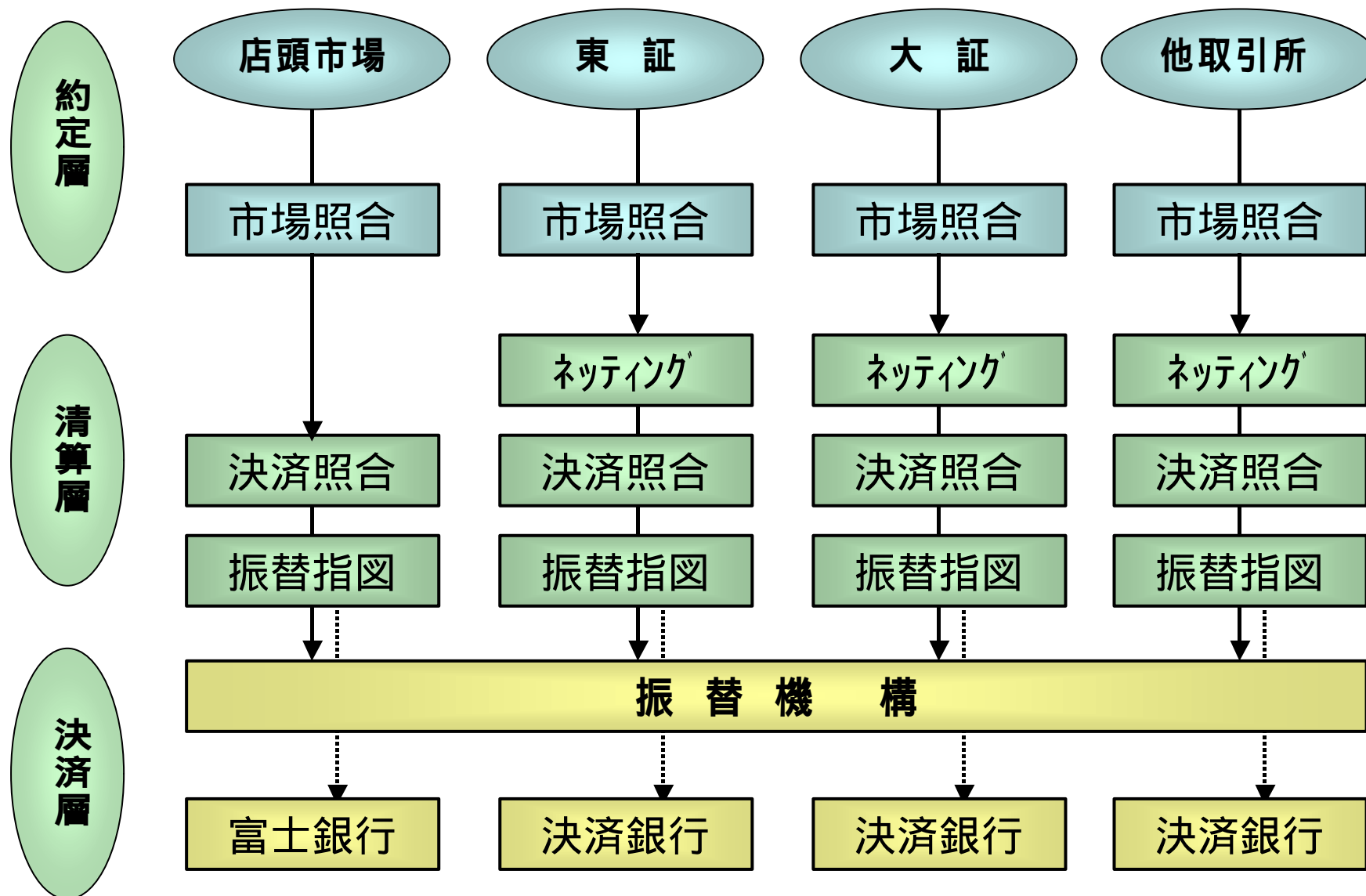
(3)統合に要する時間とコスト

(4)貸借取引の取扱い

(5)清算機関と決済機関との関係の整理

# 別紙 1

## 現 状



# 別紙 2

## 統一清算機関の構造

